

山口県
地域連携
教育通信セポ
C.E.P.O. ニュース
Community Education Promotion Office

やまぐち地域連携教育の集いを開催しました

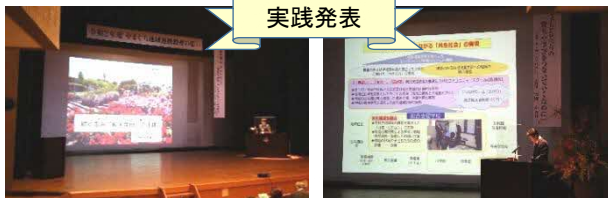
学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びや育ちを支援する山口県の地域連携教育に対する理解を深め、取組の充実を図ることを目的として、実践発表や有識者による講演などを下記の日程により開催しました。今年度は参加人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染症に対する様々な対策を講じた上での開催となりましたが、多くの方の参加により、大変有意義な集いとなりました。



< 東部地域 >

日時：10月27日(火) 13:30~16:30

会場：和木町文化会館



和木町教育委員会

山口県立田布施総合支援学校

< 西部地域 >

日時：11月6日(金) 13:30~16:30

会場：長門市ラポールゆや



長門市立油谷小学校

山口県立宇部工業高等学校

講演（東部地域・西部地域 共通）

「校種を越えて子どもたちの育ちや学びをつないでいくために」

講師：下関市立大学経済学部

准教授 天野 かおり 氏



参加された方々からは、
「高校の実践発表は、義務教育とのつながりを意識することの大切さや根拠となるデータが示され、とても参考になった。」
「私が勤務していたころの養護学校（現・総合支援学校）では、地域との関わりはほとんどなく、むしろ地域とかけ離れたところでの教育を行っていたと思う。地域の特別支援教育への理解を深めていくという目的においても、現在の取組は大変素晴らしいものだと思うし、これからもぜひ続けていただきたいと思う。」
などの感想が聞かれました。

現在山口県では、「人づくりと地域づくりの好循環」の創出をめざして地域連携教育を推進していますが、関係者の皆様による連携と協働が着実に進んでいるということに手応えを感じました。これからもこの歩みを止めることなく、山口県の地域連携教育の充実に向けた取組を進めていきます。

令和2年度山口県コミュニティ・スクール担当者、地域協育ネット担当者 及び地域連携教育アドバイザー合同会議

各市町教育委員会のコミュニティ・スクール担当者と地域協育ネット担当者及び地域連携教育アドバイザー合同会議を、11月25日（水）に開催しました。今年度は、県内全ての県立高校等に配置されたCS活動推進員にも参加を呼びかけ、「横のつながり＝学校教育と社会教育の連携の在り方」「縦のつながり＝校種間の連携の在り方」について協議を深めました。

会議では、周南市教育委員会から学校教育と社会教育が連携した取組の発表や、地域連携教育エキスパートによる講演及び講評が行われ、関係者が一丸となって地域連携教育を推進していくための方向性を共有することができ、充実した会議になりました。



萩市立須佐中学校の取組



県内の地域連携教育の取組を紹介します。

今回紹介する萩市立須佐中学校の取組には、須佐公民館のほか多くの企業や団体が協力団体として参画されており、コミュニティ・スクールと地域協育ネットの協働が子どもたちの学びや育ちへとつながる取組として大変参考になります。

須佐地域の紹介窓口となる入門編です。

須佐のシンボルとしての「高山」、そして自然の造形美として全国的に名高い「須佐ホルンフェルス」「置ヶ淵」を子どもたちが案内します。（協力：大村印刷）



「須佐地域の魅力再発見プロジェクト」
取組紹介パンフレットより

私たちが紹介するVR動画をぜひご覧ください！

須佐湾めぐり

名勝「須佐湾」の美しい景観を漁船仕立ての遊覧船でご案内します。



龍が通った道ジオめぐり

萩ジオパークに認定された、阿武火山群イラオ山から噴出した溶岩流をたどります。



古地図でまち歩き

武士町であった須佐の町を、古地図を見ながらご案内します。



須佐の歴史探訪

須佐歴史民俗資料館の展示と須佐の領主益田家の歴史をご案内します。



※入門編動画の撮影、VR動画編集、VRゴーグル制作に大村印刷の協力を得ています。

地域の素晴らしさを再確認し、郷土愛を育むことを目的に、萩市立育英小学校の5・6年生児童や地域の大人とともに熟議を重ね、昨年度から始まった「須佐地域の魅力再発見プロジェクト」。企画班、ガイド班、広報班の3つの班に分かれて活動しています。この取組は、須佐中学校区の学校・地域連携カリキュラムに位置付けられ、総合的な学習の一環として進められています。

新型コロナウイルスの影響により、今年度はスタートが遅れましたが、企画班はVRゴーグルのデザイン募集・ツアーマップ作成、ガイド班はガイド動画の作成、広報班はウェブページの記事作成や文化祭での地域からのライブ中継などに取り組みました。

生徒が公民館など地域協育ネットとの共同事業で取り組んだ活動（360度カメラによるVR動画の制作）は地域からの反響も大きく、「須佐愛」の深まりが更なる発信活動へのエネルギー源となるとともに、子どもたちの自己肯定感の高まりにもつながっています。

取組を紹介するパンフレットのQRコードを読み取ると動画を視聴することができます。生徒のデザインによる専用のVRゴーグルも制作されています。
※ VRは「Virtual Reality＝仮想現実」の略です。

